

## 事業内容

- 東部広域の消防庁舎整備基本指針に基づき、耐震基準を満たしていない旧八頭消防署の建替整備事業を行ってきたが、令和2年12月9日に工事完了、同日10日に検査も終え、本事業は完了した。
- 整備事業の主な流れとしては、  
**平成30年度に設計（基本・実施・解体）、地質調査等の委託業務、令和元年度に新庁舎建設、令和2年度に旧庁舎の解体、外構整備**を行った。

## 受注者

- 本事業の事業別の受注者は以下のとおり。
  - ・基本、実施、解体設計業務：(株)白兔設計事務所
  - ・地質調査業務：(株)アーステクノ
  - ・庁舎建設工事
    - 建築工事：八頭消防署特定建設工事共同企業体  
(株)原田建設、(株)興洋工務店
    - 電気工事：(株)光和電工
    - 機械工事：(株)高千穂
  - ・工事監理業務：(有)門脇構造研究所
  - ・解体・外構工事：田中工業(株)

## 事業費内訳

- 本事業費の主な内訳は表のとおりで、庁舎建設費が事業費全体の約8割を占めた。

(単位：千円)

	H30	R1	R2	合計
基本・実施設計業務	35,607	0	0	35,607
地質調査	4,607	0	0	4,607
庁舎建設	120,390	240,389	0	360,779
【内訳】 新築工事（建築）	93,740	146,431	0	240,171
新築工事（電気）	26,650	40,518	0	67,168
新築工事（機械）	0	53,440	0	53,440
工事監理	5,080	12,546	0	17,626
解体・外構工事	0	0	33,220	33,220
計	165,684	252,935	33,220	451,839

## 建物概要

※同一敷地内での居ながら工事による建替

- 建物概要は、以下の表のとおり。

	旧庁舎	新庁舎
構造	鉄骨造・2階建	鉄筋コンクリート造・2階建
延床面積	502.73㎡	992.23㎡
耐用年数	38年	50年（※）

※予防保全・事後保全を行うことで長寿命化を図る。

(旧庁舎)



(現庁舎)



- 新庁舎の車庫は旧庁舎に比べ広くできており、災害出動時の隊員の動線を考慮したスペースとなっている。県道と車庫前面に空間を設けることで、緊急車両と一般車両の事故防止等も配慮した。車庫前面にスペースを設けることで、日常の車両点検も安全に行うことができる。
- 旧庁舎になかった訓練壁を設けるとともに、屋上でも訓練ができるようにした。
- 災害時に庁舎機能が維持できるよう、自家発電設備を設置。
- 女性活躍に合わせ、女性専用スペースを整備し、執務環境にも配慮した。

# 八頭消防署智頭出張所整備事業

## 事業内容

- 東部広域の消防庁舎整備基本指針に基づき、令和元年度から事業着手した。
- 整備事業の主な流れとしては、  
**令和元年度に基本設計・地質調査等の委託業務、令和2年6月末で実施設計を完了、令和2年度2月議会定例会で「工事請負契約の締結について」の議決を経て、工事着手**となる。  
**令和3年度中に新庁舎を完成（指令系設備の移設を含む）し、同年度中に運用開始予定**である。
- 運用開始後、令和4年度に現庁舎を解体予定。

## 受注者

- 現時点での本事業の事業別の受注者は以下のとおり。
  - ・基本、実施設計業務 : (有)赤山建築設計事務所
  - ・地質調査業務 : (株)大地企画
  - ・庁舎建設工事
    - 建築工事：八頭消防署智頭出張所特定建設工事共同企業体  
(株)藤原組、(株)千代田工務店
    - 電気工事：令和3年2月中旬入札
    - 機械工事：令和3年2月中旬入札
 } 指名競争入札
  - ・工事監理業務 : 令和3年2月中旬入札

## 事業費内訳

- 令和3年1月時点での本事業費の主な内訳（予定を含む）は表のとおり。  
 （単位：千円）

	R1	R2	R3	計
委託料	10,805	30,130 (R1からの繰越事業含む)	10,059	50,994
工事請負費	0	178,026	281,094	459,120
計	10,805	208,156	291,153	510,114

## 建物概要

※鳥取自動車道智頭ICを下車、智頭方向に約100mの敷地に新築整備。

- 建物概要は、以下の表のとおり。

	旧庁舎	新庁舎
構造	鉄骨造・平屋建	鉄筋コンクリート造・平屋建
延床面積	278.25㎡	650.30㎡（附属建物含む）
耐用年数	38年	50年（※）

※予防保全・事後保全を行うことで長寿命化を図る。

（旧庁舎）



（新庁舎）



- 本建設地は、給水外地域であり、給排水設備の整備が課題となっていたが、協議を重ね、概ねクリアしている。  
 ※さく井（智頭町による）による給水・ポンプ室の設置  
 浄化槽及び浄化槽排水路（智頭町による）の整備
- 新庁舎の車庫を広くするなど、災害出動時の隊員の動線を考慮したスペースとなっている。
- 災害時に庁舎機能が維持できるよう、自家発電設備を設置。

# 八頭消防署用瀬出張所整備事業

## 事業内容

- 東部広域の消防庁舎整備基本指針に基づき、令和2年度から事業着手している。
- 整備事業の主な流れとしては、  
**令和2年度に基本・実施設計**、地質調査等の委託業務、**を完了、令和3年度10月議会定例会で「工事請負契約の締結について」の議決を経て、工事着手**予定。  
**令和4年度中に新庁舎を完成（指令系設備の移設を含む）し、同年度中に運用開始予定**である。
- 運用開始後、令和5年度に現庁舎を解体予定。

## 地元への説明

- 用瀬町総合支所、鳥取市危機管理課とともに
- 令和元年11月用瀬地域振興会議、同年12月用瀬町自治会長会定例会で説明。
- 令和2年11月、同年12月にも再度説明。

## 受注者

- 現時点での本事業の事業別の受注者は以下のとおり。
  - ・基本、実施設計業務：(株)白兔設計事務所
  - ・地質調査業務：(株)白兔設計事務所

## 事業費内訳

- 令和3年1月時点での本事業費の主な内訳（予定を含む）は表のとおり。

（単位：千円）

	R2	R3	R4	計
委託料	32,059	3,775	9,272	45,106
工事請負費	0	141,037	222,690	363,727
計	32,059	144,812	231,962	408,833

## 建物概要

※用瀬町総合支所と協議し、用瀬地区保健センター敷地のうち845㎡を使用。

- 建物概要は、以下の表のとおり。

	旧庁舎	新庁舎
構造	鉄骨造・平屋建	鉄筋コンクリート造・2階建
延床面積	270.48㎡	586.46㎡（※※）
耐用年数	38年	50年

※※基本設計時点での面積となる。

（旧庁舎）



（新庁舎）



- 本庁舎は、隣接する保健センターの敷地を使用して建設するため、地域住民の利用等を考慮し、災害出動時の隊員の動線を考慮しつつ、できる限りコンパクトな設計にしている。
- 災害時に庁舎機能が維持できるよう、自家発電設備を設置。
- 現庁舎の敷地は、保健センター駐車場として整備予定（鳥取市による）

# 今後の庁舎整備計画について

## 整備基本方針

- 昭和 56 年以前の旧耐震基準で建築されており、耐震基準を満たしていない
  - 耐用年数に到達し、老朽化が進行
- } 優先度を設け、個別具体的に実務レベルで検討する
- 令和元年度から着手する施設整備の整備目標年度については、建設業における働き方改革の取組を踏まえ、整備期間を 2 ヶ年から 3 ヶ年とするよう見直した。
  - 目標年度を基本に、構成市町における用地取得状況や財政状況等を勘案しながら、具体的な整備を進める。

## 整備目標年度

- 整備目標年度は、以下の表のとおり。 ※鳥取消防署東町出張所(H27 年度)、岩美消防署 (H30年度)、八頭消防署 (令和元年度) に整備済。

署所名	構造	開設年月	耐用年数	経過年	Is値	優先度	整備目標年度
智頭出張所	鉄骨造平屋建	S54.10	38年	41年	0.17	A	R1～3年度
用瀬出張所	鉄骨造平屋建	S54.10	38年	41年	0.10	A	R2～4年度
若桜出張所	鉄骨造平屋建	S54.10	38年	41年	0.25	B	R3～5年度
気高消防署	鉄骨造 2 階建	S53.10	38年	41年	0.28	B	R4～6年度
国府分遣所	鉄骨造平屋建	S54.10	38年	41年	0.10	B	R5～7年度
吉方出張所	鉄骨造平屋建	S52.4	38年	43年	0.53	B	R6～8年度
青谷出張所	鉄骨造平屋建	H 2.4	38年	30年	-	C	R8年度以降検討
湖山消防署	鉄筋コンクリート造 2 階建	S53.4	50年	42年	0.96	C	〃
鳥取消防署	鉄筋コンクリート造 4 階建	H 1.4	50年	31年	-	C	〃

※整備目標年度には、現庁舎の解体を含まない。

## 進捗状況

- 八頭消防署若桜出張所
  - ・若桜町と建設地の調整中。(現在の敷地の隣接地を若桜町が取得、造成整備で調整中)
  - ・**令和 3 年度に基本・実施設計及び地質調査業務を実施**予定。(令和 3 年度当初予算計上)



- 気高消防署
  - ・鳥取市と建設地の調整、令和 3 年度の早い時期に確定。

現在の気高消防署

